

スギやヒノキの人工林

スギやヒノキの人工林は人間がつくった林で、林の中の木の種類や大きさもほぼそろっているのが特徴です。

木が小さいうちは土が乾燥しているため、そこにすむ動物の種類も多くないのが一般的です。しかし、木が大きくなると地面に光が届かなくなるため、林床の土は適度な湿度をもち、腐植層とよばれる養分の多い土壤ができ、林床の動物（ミミズやオオオサムシ、ヤマトオサムシ、オオクロナガオサムシなどのオサムシ類、ネズミな



26. 人工林

ど）は多くなってきます。スギの害虫として知られるスギカミキリ、ヒメスギカミキリ、スギノアカネトラカミキリなどの種類は、この林に特有な生きものです。また、ヒグラシの声がよく聞かれたり、ヒガラや日本一小さな鳥であるキクイタダキがよくみられるのもこの林です。人里から遠い山では、木々の間にカケスがみられ、夜にはトラツグミやヨタカなどの鳥の声が聞こえるでしょう。



27. ヤマトオサムシ 28. ヒガラ
29. キクイタダキ 30. スギカミキリ

27	29	30
28		